目次

安全上のご注意

使用上のご注意

はじめに

インストール

目次

ご使用の前に必ずお読みください

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

警告	注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例）「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

厳守	長時間に渡って映像をみる場合は一定の間隔で休憩をとってください。
禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。 ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告
厳守

煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

水濡れ禁止

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。

日本語

禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。

厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様による修理は行なわないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。

禁止

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。
レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクターは180wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全事項について

このユーザガイドの警告、注意および保守手順に従ってください。

- 火災や感電の危険性をなくすために、製品を濡らしたり水にさらしてはいけません。
- 感電の危険性をなくすために、製品を分解してはいけません。
- ランプを交換する前に、ユニットを冷却してください：ランプの交換にあたっては、「ランプの交換」で解説されている指示に従ってください。
- この製品はランプの寿命を自動的に検出し、ランプの有効期限が切れるときに警告メッセージが表示されます。警告メッセージが表示された場合、ランプを交換してください。
- 新しいランプに交換した後、オンスクリーンメニューを利用し、ランプ寿命をリセットしてください。
- 製品の電源をオフする前に、数分間ファンが回り冷却しますので、そのままにしておいてください。
- 信号源を切り換えるとき、先にプロジェクターの電源をオンしてください。
- プロジェクターが動作中、レンズキャップははずしてください。
- ランプが寿命に近づくと、ランプが消えて大きな音がする場合があります。この場合ランプを交換するまで、プロジェクタは機能しません。ランプを交換するには、「ランプを交換する」に解説されている項目に従ってください。

使用上のご注意

推奨事項:

- お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

眼の安全保護について

- 使用中はレンズを覗かないでください。
- プロジェクターの光源に向かって立たないでください。出来る限り、離れてください。
- プレゼンテーションする時のランプ パワーを節約するために、部屋の明るさは出来るだけ、暗くしてください。

製品の特徴

Optomaプロジェクターをお選びいただきありがとうございます。本プロジェクタはDVDプレーヤー機能が組み込まれたシングルチップDLP® プロジェクタです。

- コントラスト2200:1.　高輝度1500ルーメン
- 赤外線リモートコントローラ
- ユーザフレンドリーな多言語オンスクリーンディスプレイメニュー
- 先進的デジタルキーストン補正および高機能フルスクリーン映像再スケーリング
- ユーザフレンドリーなコントロールパネル
- ビデオ互換 – Sビデオ、コンポジットおよびHDTV(480i / p, 576i / p, 720p, 1080i)対応NTSC / PAL / SECAM対応
- コンピュータ互換 – SXGA、XGA圧縮およびSVGAリアル、VGAリサイズ
- プロジェクター接続に対応したオリジナルデジタルDVDプレーヤー
- 5W x 2ステレオスピーカー組み込み
- デジタルオーディオ出力およびステレオ出力
- DVDプレーヤー互換 –

  メディア互換：DVD、DVD-R、DVD+R、DVD-RW、DVD+RW、CD-R、CD-RW

  フォーマット互換：DVD、VCD、オーディオCD、MP3、WMA、JPEG

パッケージ内容

このプロジェクターには以下のものが付属しています。欠けているものがないか確認してください。

プロジェクター本体
(レンズキャップ付き)

コンポジットビデオケーブル1.8m

電源コード1.8m

D-Sub/Y·Pb·Pr
変換アダプタ

IRリモートコントロール

資料：
- ☑ ユーザマニュアル
- ☑ 保証カード
- ☑ クイックスタートカード

単4型電池 x 2

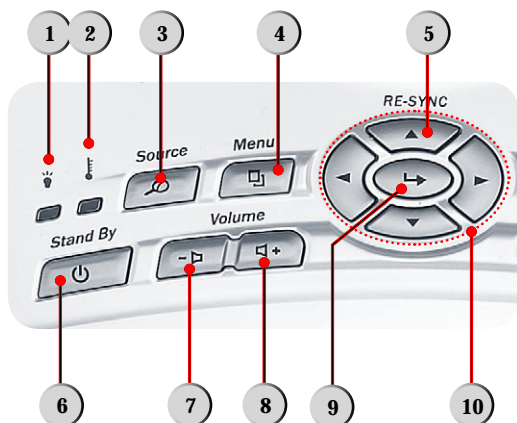
携帯用ケース

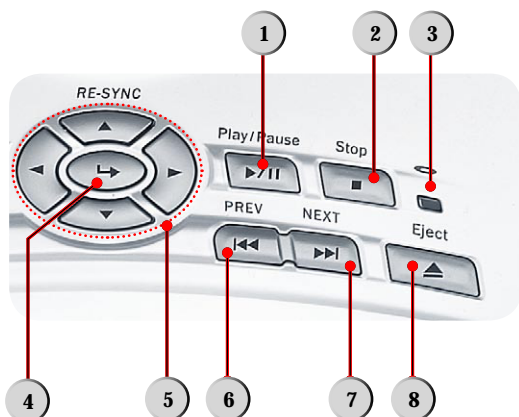
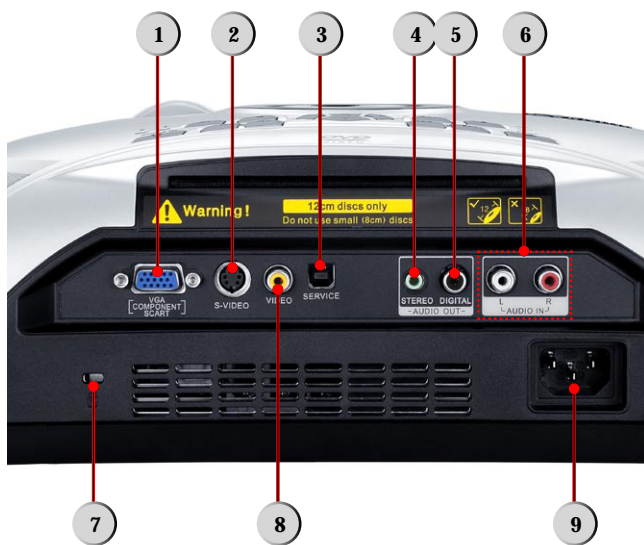
製品の概要

メインユニット

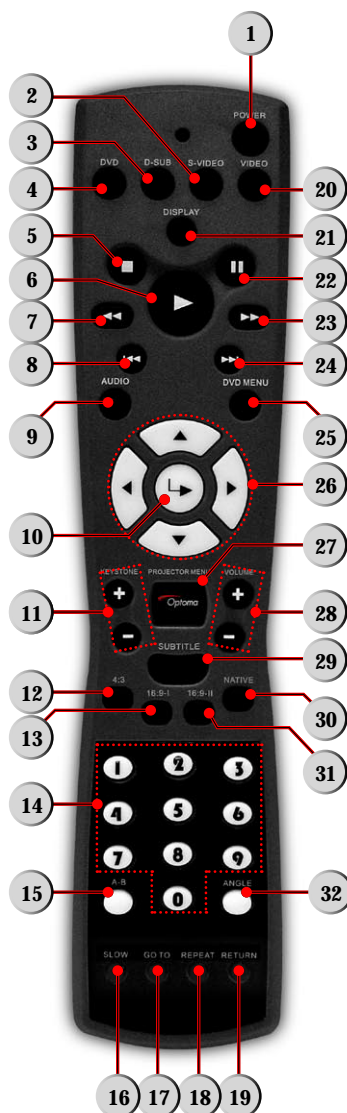
1. ズームレバー
2. フォーカスリング
3. ズームレンズ
4. エレベーターボタン
5. エレベーターフット
6. リモコン受光部
7. DVDパネル
8. プロジェクタパネル
9. 接続ポート
10. 電源ソケット
11. スピーカ

プロジェクターパネル

1. ランプLED
2. 温度LED
3. ソース
4. メニュー
5. リシンク
6. 電源ボタン/電源LED
7. 音量 -
8. 音量 +
9. エンター
10.4方向選択キー

DVDパネル

1. 再生/一時停止
2. ストップ
3. DVD LED
4. エンター
5. 4方向選択キー
6. 前ボタン
7. 次ボタン
8. イジェクトボタン

接続ポート

1. VGA入力コネクタ
   (PCアナログ / SCART RGB / HDTV / コンポーネントビデオ)
2. Sビデオ入力コネクタ
3. サービスコネクタ
4. ステレオオーディオ出力コネクタ
5. デジタルオーディオ出力コネクタ
6. オーディオ入力コネクタ
7. Microsaver™ ロックポート
8. コンポジットビデオ入力コネクタ
9. 電源ソケット

日本語

リモートコントロール

1. 電源オン/オフ
2. S-Video ソース
3. D-Sub ソース
4. DVD ソース
5. ストップボタン
6. プレイボタン
7. 早戻しボタン
8. 前ボタン
9. オーディオ
10. エンター
11. キーストン+/-
12. 4:3
13. 16:9-I
14. 数値ボタン
15. A-B 繰り返し
16. スローボタン
17. GOTO ボタン
18. 繰り返しボタン
19. 戻るボタン
20. コンポジットビデオソース
21. ディスプレイ
22. ポーズボタン
23. 早送りボタン
24. 次ボタン
25. DVD メニュー
26. 4方向選択キー
27. プロジェクターメニュー
28. 音量 +/-
29. サブタイトル
30. Native
31. 16:9-II
32. アングル

日本語

プロジェクターを接続するには

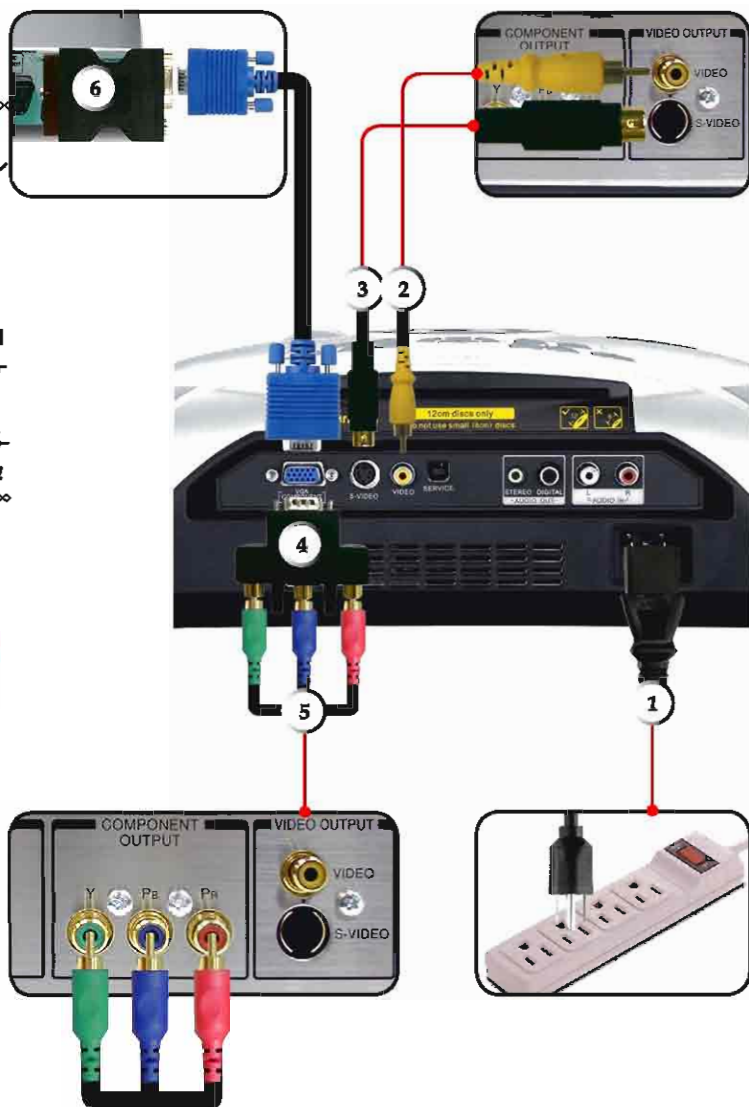
コンピューター/ノート型PCを接続するには

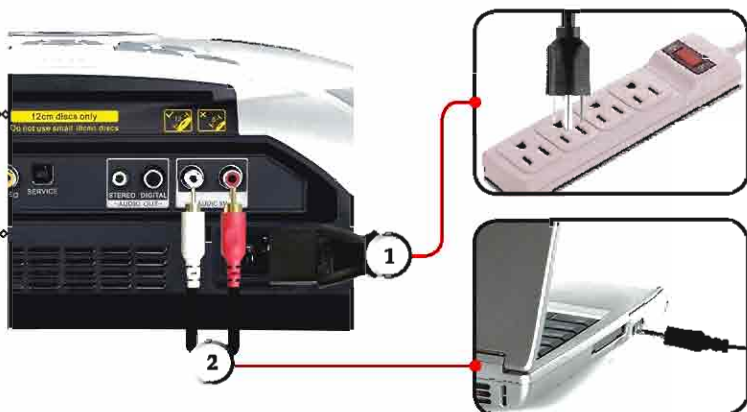
1. 電源コード
2. VGAケーブル

ビデオを接続するには

1. 電源コード
2. ビデオケーブル
3. Sビデオケーブル
4. D-sub - RCAアダプタ
5. YPbPr用RCAコンポーネントケーブル
6. SCART RGB/S-ビデオアダプタ

Note

オーディオやビデオ装置の環境および要求に従って、接続ポートにインストールすることができます。

オーディオ入力を接続するには

1. 電源コード
2. オーディオケーブル (L/R)

オーディオ出力を接続するには（外部サブウーファ/ステレオシステム）

1. 電源コード
2. オーディオケーブル

オーディオ出力を接続するには（2.1チャンネル/5.1チャンネル）

プロジェクターの電源をオン/オフするには

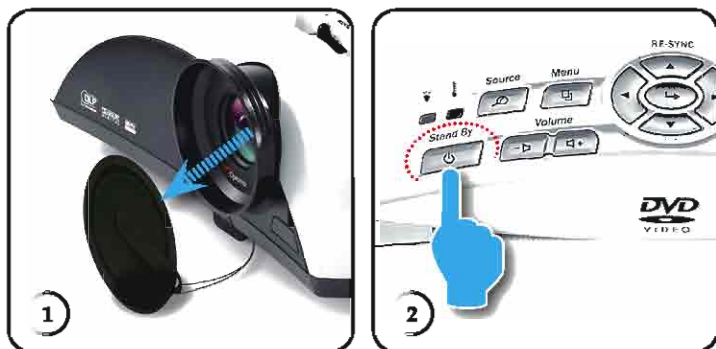
プロジェクターの電源をオンするには

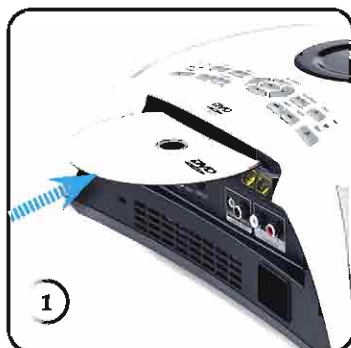
1. レンズキャップを取り外してください。❶
2. 電源ケーブルが確実に接続されていると電源LEDが青色点滅します。
3. コントロールパネルの[電源]ボタンを押して、ランプを点灯させせます。すると、[電源LED]が緑に変わります。❷

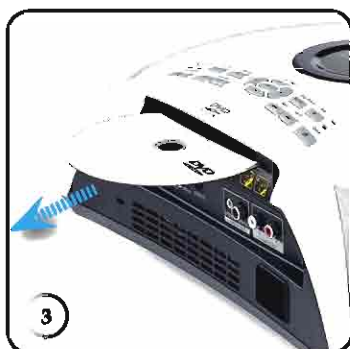
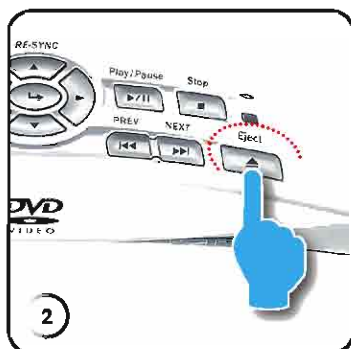
   初めてプロジェクターを使用する時、スタートアップ画面の後に、メニューから使用する言語を選択できます
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクターは自動的にソースを検出し、[システム] メニューに表示されます。[Source (ソースロック)] が [オフ] に設定されているかどうか確認してください。

■ *複数のソースが同時に接続されている場合は、コントロールパネルの [ソース] ボタン、またはリモコンのダイレクトソースキーで信号源を切り換えてください。*

Note

最初にプロジェクターの電源をオンし、その後信号のソースをオンしてください。

DVDプレーヤーをオンするには

1. レンズキャップをはずします。
2. 電源ケーブルおよび信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。電源LEDが青色点滅します。
3. プロジェクターパネルの[電源]ボタンを押して、ランプを点灯させます。すると、電源LEDが緑に変わります。
4. スロットにDVDディスクを挿入します。❶
5. DVDプレイーヤーがディスクをロードする場合、プロジェクターのスクリーンに「DVD」というメッセージが表示さされます。DVDプレーヤーがディスクをロードできない場合、プロジェクターのスクリーンにスタートアップ画面が表示されます。

DVDプレーヤーをオフするには

1. DVDパネルの⏏[Eject]を押します。❷
2. 装置のDVDディスクを取り外します。❸

DVD 互換の種類		
ディスクの種類	直径	レコーダ
DVD	12cm	DVDデータフォーマット：圧縮デジタルオーディオ＋圧縮デジタルビデオ
VCD	12cm	MPEG圧縮デジタルオーディオ＋圧縮デジタルビデオ
Audio CD	12cm	CD-DA: デジタルオーディオ
MP3/JPEG	12cm	圧縮デジタルオーディオ
WMA	12cm	圧縮デジタルオーディオ
JPEG	12cm	デジタルフォト

プロジェクターの電源をオフするには

1. [電源]ボタンを押し、プロジェクタランプの電源をオフします。プロジェクターのスクリーンに「ランプを消しますか？映像ミュート」が表示されます。確認のために再度[電源]ボタンを押します。押さなければ約30秒後にメッセージが消えます。
   ▶ キーを押すと、プロジェクターは「映像ミュート」モードとなり、なにも映像が表示されません。「映像ミュート」モードを終了するには、再度[電源]ボタンを押します。
2. 冷却ファンは、約60秒間冷却サイクルとして回転し続け、[電源LED]が緑で点滅します。[電源LED]が青色点滅すると、プロジェクターはスタンバイモードになります。
   プロジェクタの電源を再度オンするには、冷却サイクルが終了し、スタンバイモードになるまで待たなければなりません。スタンバイモードになれば、[電源]ボタンを押してプロジェクタを始動します。
3. 電源ケーブルを外してください。

4. 電源オフの操作した後に、すぐにプロジェクターの電源をオンにすることはできません。

警告インジケータ

- 「ランプ」インジケータが赤色点滅すれば、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

- 「温度」インジケータが赤色点滅すれば、プロジェクターはオーバーヒートしています。プロジェクターは自動的に消えます。
通常の状況では、冷却後プロジェクターを再度オンすることが可能です。問題が繰り返し発生する場合、販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

プロジェクタが過熱状態です
ランプはまもなく自動的に消えます。

- 「温度」インジケータが約10秒間赤色点滅すれば、ファンが故障しています。販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

ファン故障
ランプはもうすぐ消えます

- 「温度」インジケータが赤色点滅すれば、フォトセンサーが故障しています。販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

- 「ランプ」インジケータが赤色点滅すれば、カラーホイールセンサーが故障しています。販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

投影されたイメージの調整

プロジェクターの高さを調整するには

プロジェクターには高さを調整するためのエレベーターフットが付いています。

映像位置調整をするには：

1. エレベータボタン❶を押し、調整できるようフットを伸ばします。
2. エレベータボタンを押している間、フットを希望する高さに調整できます。❷そしてボタンを離しエレベータフットをロックします。
3. 傾きの微調整には❸を用いてください。
4. 必要に応じて、プロジェクタがフットに当るまで下げます。

1. エレベーターボタン
2. エレベーターフット
3. チルト調整フット

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整するには

ズームレバーを動かし、投影画像サイズを調整します。フォーカスを調整するには、フォーカスリングを回し、鮮やかな映像になるようフォーカスを調整します。フォーカスは、投射距離 1.5 - 10.0 メーターの範囲で調整できます。

■投写距離表

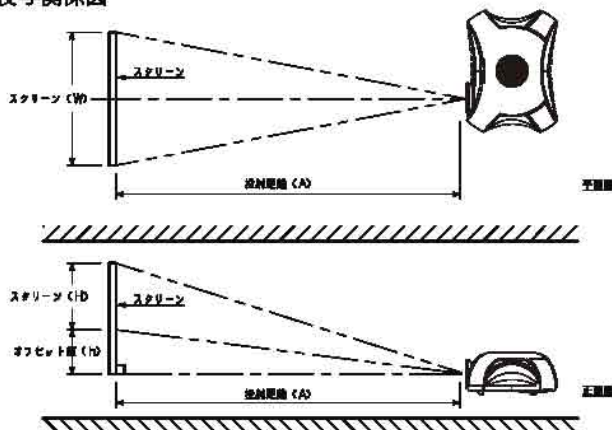
「アスペクト比16:9」

スクリーンサイズ (型)	投写距離 (A)		オフセット値 (h) [スクリーン端～レンズセンターまで]
	最短	最長	
50	約1.51m	約1.66m	約22cm
60	約1.81m	約1.99m	約27cm
70	約2.11m	約2.32m	約31cm
80	約2.41m	約2.66m	約36cm
90	約2.71m	約2.99m	約40cm
100	約3.01m	約3.32m	約45cm
120	約3.61m	約3.98m	約54cm
150	約4.52m	約4.98m	約67cm
200	約6.02m	約6.64m	約90cm

「アスペクト比4:3」

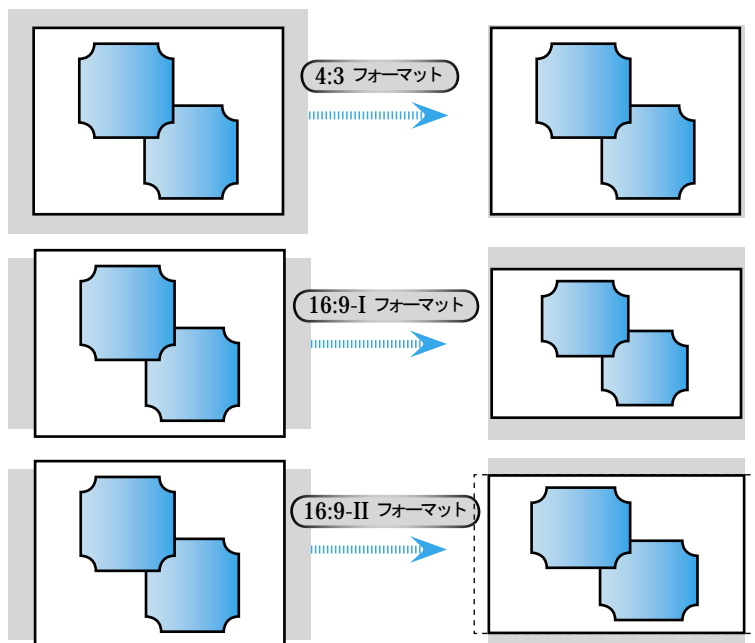
スクリーンサイズ (型)	投写距離 (A)		オフセット値 (h) [スクリーン端～レンズセンターまで]
	最短	最長	
50	約1.38m	約1.52m	約11cm
60	約1.66m	約1.83m	約14cm
70	約1.93m	約2.13m	約16cm
80	約2.21m	約2.44m	約18cm
90	約2.49m	約2.74m	約21cm
100	約2.76m	約3.05m	約23cm
120	約3.32m	約3.66m	約27cm
150	約4.15m	約4.57m	約34cm
200	約5.53m	約6.10m	約46cm

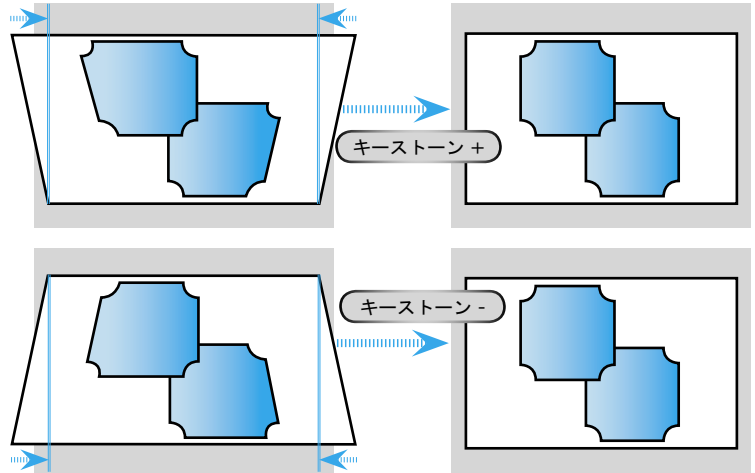
(注) 投射距離 (A) は計算値のため若干変動します。

■投写関係図

(注) この図面は正確な縮尺ではありません。

日本語

映像のアスペクト比を調整するには

鑑賞しているビデオソースの種類によって、スクリーン上で映像が正確に表示されるとは限りません。

映像の傾きを調整するには

プロジェクターが垂直方向に傾いている場合、上部と底部が均等であっても、スクリーン上の映像のサイドが中か外に傾くことがあります。[キーストーン +/-]ボタンを使って、映像を調整します。

コントロールパネルおよびリモートコントロール

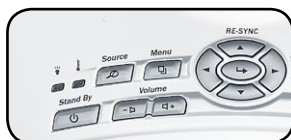
機能をコントロールするには、2つの方法があります：コントロールパネルとリモートコントロールを使った方法です。

リモートコントロールを使用する

電源	[電源]を押してプロジェクタのランプをオンします。詳しい情報は24-27ページの「プロジェクターの電源をオン/オフする」を参照してください。
4:3	4:3アスペクト比で画像を拡大縮小します。
16:9-I	16:9アスペクト比で画像を拡大縮小します。
16:9-II	854x480にスケールし、映像中の800x480を選んで中央に表示します。
Native	入力ソースは、拡大縮小されずに表示されます。
DVDソース	DVDソースを選択します。
D-SUBソース	VGA/コンポーネント/SCARTコネクタからアナログRGB/コンポーネントソースを選択します。
S-VIDEOソース	[S-Video]を押して、S-ビデオソースを選択します。
コンポジットビデオソース	[Video]を押して、コンポジットビデオソースを選択します。
↳ エンター	項目の選択を確認します。
プロジェクタメニュー	プロジェクターのオンスクリーンディスプレイメニューを表示するか終了します。
4方向選択キー	▲▼◀▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整をします。
キーストン +/-	プロジェクターの傾きから起こる映像の傾きを調整します。
音量 +/-	音量を大きく/小さくします。
DVDメニュー	一部のDVDでは、メニューを使用してディスク内容を選択します。これらのDVDを再生するとき、メニューを使用してサブタイトルの言語とサウンドトラック言語などを選択できます。

日本語

ディスプレイ	DVD状態を表示します（タイトル；チャプター；時間；情報）
サブタイトル	希望するサブタイトルの言語を選択します。
オーディオ	希望するオーディオ言語またはサウンドモードを選択します。
数値ボタン	プレイバック用のトラック番号を選択します。
A-B繰り返し	選択したセレクションのプレイバックを繰り返します。
アングルボタン	カメラアングルを選び、違ったアングルからプレイバックのシーケンスを鑑賞します。 DVDに特定シーンの複数のアングルが含まれるとき、[アングル]機能を使用できます。
◀◀ 早戻しボタン	2、4、8、20倍のスピードで巻き戻しサーチするために押します。
⏮ 前ボタン	前のタイトル/チャプターにスキップするために押します。
⏭ 次ボタン	次のタイトル/チャプターにスキップするために押します。
▶▶ 早送りボタン	2、4、8、20倍のスピードで早送りサーチするために押します。
▶ プレイボタン	プレイバックを始めるために押します。
■ ストップボタン	プレイバックを停止するために押します。
⏸ ポーズボタン	プレイバックを一時停止するために押します。 ▶ [プレイ]ボタンを押して通常のプレイバックに戻します。
スロー	早送りまたは巻き戻しをスローで再生するために押します。
GOTO	希望する開始時間、チャプターまたはタイトルを選択するために押します。
リピート	現在のディスク、タイトル、チャプターまたはトラックのプレイバックを繰り返します。
戻る	直前の操作に戻ります。

プロジェクターパネルを使用する

Stand By (電源)	[電源]を押してプロジェクターのランプをオンします。詳しい情報は24-27ページの「プロジェクターの電源をオン/オフする」を参照してください。
電源LED	プロジェクタの状態を表示します。
ランプLED	プロジェクターのランプ状態を表示します。
温度LED	プロジェクターの温度状態を表示します。
+/ − 音量 +/-	音量を大きく/小さくします。
ソース	RGB、Sビデオ、コンポジット、コンポーネントまたはHDTVのソースを選択します。
再同期	自動的にプロジェクターを入力ソースに同期させます。
エンター	項目の選択を確認します。
メニュー	プロジェクターのオンクリーンメニューを表示するか終了します。
4方向選択キー	▲▼◀▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整をします。

日本語

Note
DVDプレーヤーが動作しているとき、「再同期」機能は使用できません。

DVDパネルを使用する

DVD LED	DVDのステータスを表示します。
イジェクトボタン	再生を停止し、ディスクを取り出します。
前ボタン	前のタイトル/チャプターにスキップするために押します。
次ボタン	次のタイトル/チャプターにスキップするために押します。
/ プレイ/ポーズボタン	プレイバックをプレイ/一時停止するために押します。
■ ストップボタン	プレイバックを停止するために押します。
+/ − 音量 +/-	音量を大きく/小さくします。

オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクターには多言語のオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューが備わっており、映像の調整やさまざまな設定を変更することができます。プロジェクターは自動的にソースを検知します。

プロジェクターメニューの操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモートコントロールの[プロジェクターメニュー]か、コントロールパネルの[メニュー]を押します。
2. OSDが表示されていると ◀ ▶ キーを押してメインメニューの項目を選択します。特定のページで選択を行っている間、▼ キーを押すとサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼ キーを押し希望する項目を選択したうえで、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで調整するためには次の項目を選択し、上記説明に従って調整します。
5. [プロジェクターメニュー]/[メニュー]を押して確認し、スクリーンをメインメニューに戻します。
6. 終了するためには、再度[プロジェクターメニュー]/[メニュー]を押します。どのキーも押さない場合、自動的に 30 秒後メニュー表示が消えます。OSD メニューがクローズし、プロジェクターは新しい設定を保存します。

日本語

プロジェクター用のメニューツリー

日本語

イメージ - I	イメージ - II	表示
言葉	システム	バルブのセッティング

English	繁體中文
Deutsch	简体中文
Français	日本語
Italiano	한국어
Español	Nederlands
Русский	Polski
Suomi	Svenska
No/Dk	

言葉

言語

多言語メニューを表示します。希望する言語を選択するには、◀ と ▶ を使用します。

選択を終了するには「エンター」を押します。

イメージ － I

ディスプレイモード

さまざまな映像種類の組み合わせ用に、プリセットが用意されています

- Cinema：ホームシアター用。
- sRGB：標準PCカラー用。（最適の色彩表現）
- Vivid：ダイナミックフレーム用。
- Game：ゲーム用
- PC：コンピュータ/ノートパソコン用（最も明るい画面）
- User：ユーザの設定を記憶する。

明るさ

映像の明るさを調整します。

- 映像を暗くするには、◀ を押します。
- 映像を明るくするには、▶ を押します。

コントラスト

コントラストは、映像のうち最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを調整します。コントラストを調整し、映像のブラックとホワイトの量を変化させます。

- コントラスを減少させるには ◀ を押します。
- コントラスを増加させるには ▶ を押します。

彩度

ブラックとホワイトのビデオ映像をあふれるほどの色の濃さ映像に調整します。

- 映像のカラー量を減少させるには ◀ を押します。
- 映像のカラー量を増加させるには ▶ を押します。

Note

「彩度」サブメニューはアナログRGB入力ソースの下ではサポートされません。

日本語

色合い

赤色と緑色のカラーバランスを調整します。

- 映像のグリーン量を増加させるには ◀ を押します。
- 映像の赤色量を増加させるには ▶ を押します。

シャープネス

映像のシャープネスを調整します。

- シャープネスを減少させるには ◀ を押します。
- シャープネスを増加させるには ▶ を押します。

Note

「色合い」サブメニューはアナログRGB入力ソースの下ではサポートされません。

イメージ － II

ガンマ

ガンマカーブを選択し、入力用の映像品質を好みの状態に調整します。

ホワイト　レベル

ホワイトピークコントロールを使い、DMDチップのホワイトピークレベルを設定します。「1」が最低ピークで、「10」が最大ピークです。強力な映像を希望する場合、最大の設定に調整してください。スムーズでより自然な映像には、最低の設定に調整してください。

色温度

色温度を調整します。範囲は「0」から「2」です。より高い温度設定では、スクリーンは冷たい感じがします。低い温度設定ではスクリーンは暖かく感じるようになります。

TrueVivid™

セットする場合には、エンターキーを押してください。
明るさ（オフセット）やコントラスト（ゲイン）用に赤、緑、青を選択するには、◀ または ▶ を使用します。

信号

信号		
周波数		-50
位相		-50
水平位置		-50
垂直位置		-50

Note

アナログRGBおよびアナログYPbPr入力ソースでは、「信号」サブメニューがサポートされていません。

- 周波数：ディスプレイデータの周波数を変更し、コンピュータグラフィックカードの周波数に合わせます。垂直のちらつきのバーが見えたら、この機能を使い調整してください。
- 位相：グラフィックカードディスプレイの信号タイミングに同期します。もし映像が安定せずちらつけば、この機能を使い修正します。
- 水平位置：水平ポジションを調整します。
- 垂直位置：垂直ポジションを調整します。

リセット

「はい」を選択し、さらに「エンター」を押します。このメニューでディスプレイパラメータが、工場によるデフォルト設定に復帰します。

表示

フォーマット

- 4:3： 横縦比（アスペクト比）が4:3にスケーリングされます。
- 16:9-I：プロジェクターの標準ワイドスクリーンディスプレイです。
- 16:9-II：プロジェクターの非標準ワイドスクリーンディスプレイフォーマット。画像のアスペクト比が 1.67:1 以下の場合、元の画像の一部が切り取られます。
- Native：このフォーマットでは、スケーリングせずに元画像を表示します。

ソース	480i/p	576i/p	720p	1080i	PC
4:3	800x600にスケール				
16:9-I	800x450にスケール				
16:9-II	854x480にスケールし、映像中の800x480を選んで中央に表示します。				
Native	1:1	1:1	800x720 で中央	960x540 で中央	1:1

ズーム

映像をズームするために異なる拡大比率が備わっています。映像はズーム後、中央に表示されます。

イメージ シフト

映像の垂直方向の位置を調整する機能です。「0」は未調整であることを意味します。

Overscan（オーバースキャン）

いくつかの選択モードがあり、映像の各エッジのエラー部分を消して映像をズームします。

キーストン

プロジェクターの傾きから起こる映像の傾きを調整します。（±16度）

リセット

「はい」を選択し、さらに「エンター」を押します。このメニューでディスプレイパラメータが、工場によるデフォルト設定に復帰します。

システム

メニュー位置

スクリーン上のメニューの表示位置を選択します。

投射方式

■ フロント

工場出荷時の初期設定。

■ フロントー天井

この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下・左右を反転することができるため、プロジェクターを天井に取り付けることができるようになります。

■ リア

この機能を選択すると、プロジェクターは映像の左右を反転することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

■ リアー天井

この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を反転することができるため、天井に取り付けたプロジェクタで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

シグナルタイプ

信号の種類、RGBまたはビデオソースを選択します。

Source Lock

この機能がオフの場合、現在の入力信号がなくなると、プロジェクターが他の接続ポートの信号を探します。この機能がオンの場合、選択した接続ポートの信号を探します。

高海抜

プロジェクタを高海抜エリアで使用する場合、機械を冷却するために高海抜項目で「オン」を選んでください。

DVD Setup

「エンター」を押してDVDメニューに移動します。

ミュート

- オン:内蔵スピーカーがミュートになっています(スイッチはオフ)。
- オフ:内蔵スピーカーのミュートがオフになっています –スピーカーは機能します。
- イヤホーン:イヤホーンがプロジェクターの「ステレオオーディオ出力」に接続されているとき、内臓スピーカーはオフになります。イヤホーンを「ステレオオーディオ出力」から外すと、スピーカーのスイッチは再びオンになります。

リセット

「はい」を選択し、さらに「エンター」を押します。このメニューで表示パラメータが、工場によるデフォルト設定に復帰します。

バルブのセッティング

ランプ使用時間

累積ランプ運用時間を表示します。

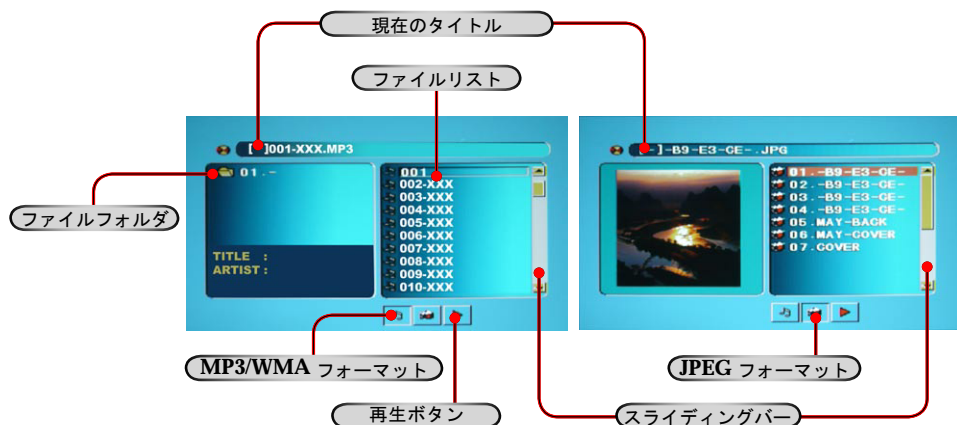
ランプリセット

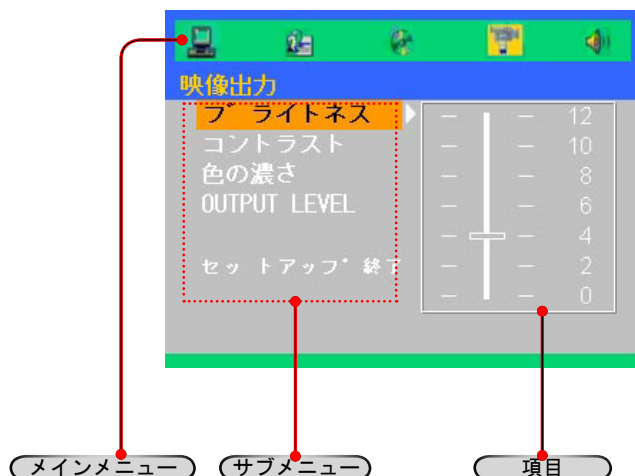
新しいランプに交換したとき、ランプの使用時間をリセットします。

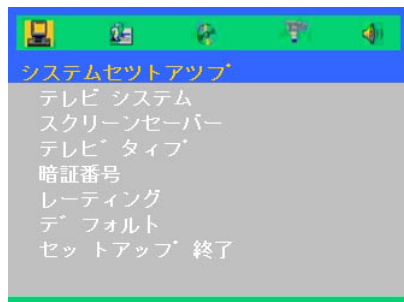
ランプ警告

ランプ変更メッセージが表示された場合、警告メッセージを表示するか非表示にするかを選択します。メッセージは寿命の30時間前から表示されます。

WMA / MP3 / JPEGプログラムの操作方法

1. MP3 / JPEGディスクを挿入した場合、DVDプレーヤーは自動的にプログラムを検出します。
2. 自動でMP3の最初のテーブルを入力するために、優先順位を決定してください。このファイルフォルダのもとで、最初の曲がプレイします（カーソルは「01」の位置で停止します）。
3. ファンクションメニューを選択するには、◀ ▶ キーを使用します。マークアイコンが透明のフルカラーに変わります。
4. 希望のトラックを選択するに ▲ ▼ キーを使用します。選択したスターの後ろで点滅し始めます。
5. プレイするには、[エンター]/[プレイ]ボタンを押します。
6. プログラムに戻るには、[戻る]キーを押します。
7. プログラムを終了するには、［メニュー］を押します。

DVDメニューの操作方法

1. DVD OSDメニューを開くには、リモコンの[プロジェクタメニュー]を押し、「システム-->DVDセットアップ」に移動します。
2. DVD OSDが表示されているとき、◀ ▶ キーを押してメインメニューの項目を選択します。特定のページで選択を行っている間、[エンター]キーか ▶ キーを押すとサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼ キーを押し希望する項目を選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで調整するためには次の項目を選択し、上記説明に従って調整します。
5. [セットアップを終了する]を選択して確認し、スクリーンをメインメニューに戻します。
6. 終了するには、［設定］/［入力］を押します。

DVD用のメニューツリー

システム設定	テレビシステム	NTSC/PALGO/PAL/ オート
	スクリーンセーバー	オン / オフ
	テレビタイプ	4:3LB/4:3PS/16:9
	暗証番号	成人用 / チャイルドロック / 制限なし
	レーティング	
	デフォルト	復元
	セットアップ終了	
言語設定	画面表示言語	ENGLISH/FRANÇAIS/РУССКИЙ /ESPAÑOL/ PORTUGUÊS/NEDERLANDS/SVENSK 繁體中文 / 简体中文 / 日本語
	オーディオ言語	
	字幕言語	
	メニュー言語	
	セットアップ終了	
デジタルセットアップ	SPDIF アウト	SPDIF オフ，SPDIF/RAW，SPDIF/PCM
	キー	
	セットアップ終了	
映像出力	ブライトネス	
	コントラスト	
	彩度	ノーマル / エンハンスト / ダイナミック /USER
	アウトプットレベル	
	セットアップ終了	
スピーカーセットアップ	ダウンミックス	LT/RT，ステレオ，オフ
	出力モード	ライン出力
	DYNAMIC レンジ	FULL，6/8，4/8，2/8，オフ
	ステレオモード	ステレオ / モノラル左 / モノラル右 / 混合モノ音
	セットアップ終了	

システム設定

テレビシステム

テレビを見ているようにシステムを選択します。

スクリーンセーバー

停止、オープン、ディスクなし、あるいは60秒間トレイのプレイが開始しない場合、「オン」を選択しスクリーン保護機能を実行させます。スクリーンセーバー機能を取り消すには、「オフ」を選択します。

テレビタイプ

この機能を使って、目的のTVタイプを選択します。

1. 4:3LB（レターボックス）： 標準サイズTVでの使用に適している。 画面のワイド画面再生フォーマット上部および底部に、黒いバンドが表示されます。
2. 4:3PS（パンスキャン）： 標準サイズTVで使用するのに適している。ワイド画面再生フォーマットで、左右エッジを取り外し、映像を調整して、全画面に設定します。
3. 16:9（ワイド画面）： ワイド画面TVに接続して利用できるオプション。

注記

- 再生の品質は、ディスクのアスペクト比に関連しています。ディスクの中には、選択した画面サイズで再生できないものがあることがあります。
- 4:3フォーマットに対応したディスクについては、常に4:3になります。
- 画面比の選択は、使用するTVの実際の画面比に適合している必要があります。

暗証番号

デフォルトの設定は、「パスワードがロックされています」です。「レーティング」を選択すればパスワードを訂正することはできません。「レーティング」を選択し、数値キーを押して、マシンの初期パスワードをインポートするには：0000を入力し「エンター」ボタンを押して確認します。パスワードを変更する必要があれば、まず古いパスワードを入力し、それから新しいパスワードを入力します。（有効なパスワードは4桁です）

Note

パスワードを忘れたとき、初期パスワード[0000]を入力してください。

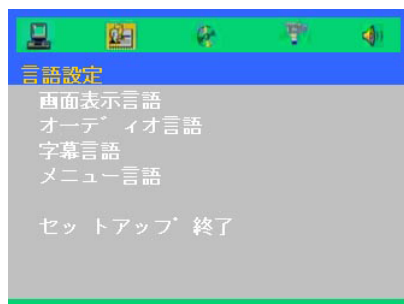
レーティング

「レーティング」または「ペアレンタルロック」オプションにより、指定した年齢グループに対して特定シーケンスまたは映画全体の表示を制限することができます。

デフォルト

「復元」を選択し、さらに「エンター」を押します。このメニューで表示パラメータが、工場によるデフォルト設定に復帰します。

セットアップ終了

メニューを終了します。

言語設定

画面表示言語

オンスクリーンディスプレイメニュー用に希望の言語を選択します。

オーディオ言語

オーディオ言語を選択します。

字幕言語

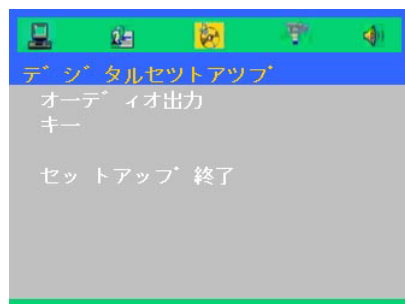
字幕の言葉を選択します。

メニュー言語

DVDメニュー用に希望の言語を選択します。

セットアップ終了

メニューを終了します。

日本語

デジタルセットアップ

オーディオ出力

DVDプレーヤーのDVDディスクの再生の間のみ有効になるように、機器の適切なデジタルオーディオ設定を選択します。

- アナログ：サウンドをオフします。
- SPDIF/RAW：プレーヤーがドルビーデジタルデコーダに接続されている場合、この機能を選択します。
- SPDIF/PCM：プレーヤーがドルビーデジタルデコーダに接続されていないとき、この機能を選択します。

キー

サウンドのキーを調整します。

セットアップ終了

メニューを終了します。

映像出力

ブライトネス

映像の明るさを調整します。

- 映像を暗くするには、◀ を押します。
- 映像を明るくするには、▶ を押します。

コントラスト

コントラストは、映像のうち最も明るい部分と、最も暗い部分の差の程度を調整します。コントラストを調整し、映像のブラックとホワイトの量を変化させます。

- コントラスを減少させるには ◀ を押します。
- コントラスを増加させるには ▶ を押します。

色の濃さ

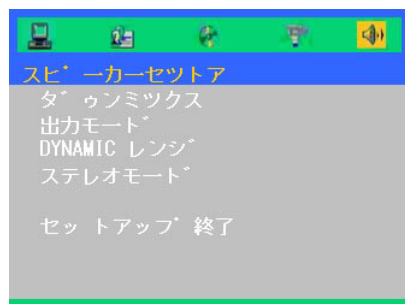
レッドとグリーンのカラーバランスを調整します。

- 映像のグリーン量を増加させるには ◀ を押します。
- 映像のレッド量を増加させるには ▶ を押します。

Output Level（出力レベル）

映像のさまざまな種類の組み合わせを考慮し、工場でプリセットが用意されています：[Normal（ノーマル）]、[Enhance（エンハンス）]、[Dynamic（ダイナミック）]と[User（ユーザー）]。

セットアップ終了

メニューを終了します。

スピーカーセットアップ

ダウンミックス

オーディオシステムで得たオーディオチャンネルに従って、チャンネルのダウンミックスが「LT/RT」、「ステレオ」または「オフ」のどれであるかを決定します。

出力モード

- ライン出力:線形圧縮を入力信号に送ります。ボリュームは使用する接続する機器に左右されます。

DYNAMIC レンジ

ダイナミックレンジは音量のピッチを決定します。ピッチは「フル」、6/8、4/8、2/8または「オフ」として設定できます。高音量のドルビーデジタルムービーを圧縮するには、突然の高音量サウンドが表れないようにします。

ステレオモード

左また右のオーディオに対してオーディオ出力方法を設定します。出力方法は「ステレオ」、「モノラル左」、「モノラル右」または「混合モノラル」として設定できます。

セットアップ終了

メニューを終了します。

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生すれば、次の情報を参照してください。問題が頻発すれば、再販業者またはサービスセンターにお問い合わせください。

映像に関する問題

Note
DVDプレーヤーが動作しているとき、「再同期」機能は使用できません。

? 映像が表示されない：

- 「インストール」セクションに記述されているとおり、ケーブルや電源コードが正しく確実に接続されていることを確認してください。
- コネクタピンが曲がったり折れていないことを確認してください。
- レンズキャップを外し、プロジェクターの電源がオンになっていることを確認してください。
- 投影ランプが正しくセットされていることを確認してください。「ランプを交換する」セクションを参照してください。

? 映像の一部しか表示されない、スクロールする、あるいは正しく表示されない：

- プロジェクターパネルで[リシンク]を押します。
- PCを使用し ている場合：

Windows 95, 98, 2000, XP :

1. 「マイコンピュータ」アイコンから、「コントロールパネル」フォルダを開き、「画面」アイコンをダブルクリックします。
2. 「設定」タブを選択します。
3. ディスプレーの解像度設定が1280 x 1024相当またはそれ以下であるか確認してください。
4. 「詳細」ボタンをクリックします。

プロジェクターがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください

5. 解像度設定が1280 x 1024相当またはそれ以下であるか確認してください。

日本語

6. 詳細タブを押す。「モニター」タブで「変更」ボタンを選択してください。
7. 「デバイスをすべて表示」をクリックします。 次にSPボックスの「標準モニタータイプ」を選択し、「モデル」ボックスで解像度モードを選びます。
8. 解像度設定が1280 x 1024相当またはそれ以下であるか確認してください。

- ノート型PCを使用している場合：
1. 上記のステップに従い、コンピュータの解像度を調整してください。
2. 切り替え出力設定を押します: [Fn]+[F4] など

Compaq=>	[Fn]+[F4]	Hewlett Packard =>	[Fn]+[F4]
Dell =>	[Fn]+[F8]		
Gateway=>	[Fn]+[F4]	NEC=>	[Fn]+[F3]
IBM=>	[Fn]+[F7]	Toshiba =>	[Fn]+[F5]
Mac Apple をご使用の場合:			
システム環境設定-->表示-->配置-->ミラー表示			

- 解像度を変更するのが困難な場合、あるいはモニターがフリーズする場合には、プロジェクタを含めてすべての装置を再起動してください。

? ノート型PCやPowerBookコンピュータには、プレゼンテーションを表示することができない場合があります。

ノート型PCを使用している場合：

第二ディスプレイデバイスを使用している場合、PCの画面が非表示になるノート型PCがあります。再表示させるには、それぞれ特有の方法があります。詳細については、各コンピュータのドキュメントを参照してください。

? 映像が不安定またはちらつく：

- 是正するには「位相」を使用します。詳しい情報は42ページを参照してください。
- コンピュータのモニターカラー設定を変更します。

? 映像に縦方向にちらつくバーが出る：

- 調整するには「周波数」を使用します。詳しい情報は42ページを参照してください。
- グラフィックカードのディスプレイモードをチェックし、再構築して互換性を高めます。

? 映像のフォーカスがぼける：
- レンズキャップがはずれていることを確認します。
- 投影スクリーンが4.92 - 32.8フィート（1.5 - 10.0メートル）の間に設置されていることを確認します。

? 映像が小さすぎるか大きすぎる：
- プロジェクターの上にあるズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけるか、スクリーンから遠ざけます。
- リモートコントローラの [4:3] / [16:9-I] / [16:9-II] / [Native] ボタンを押すか、プロジェクタパネルの[プロジェクタメニュー]を押して、「表示-->フォーマット」に進みます。別の設定を試してみます。

? 映像の端が斜めになる：
- できる限り、プロジェクターをスクリーン水平位置で中央に、垂直位置でスクリーンの下端より下になるよう配置します。
- 両端が垂直になるまで、リモートコントロールで[キーストン+/-]を押します。

? 画像が逆になっている：
- OSDから「システム-->投射方式」を選択し、投射方式を調整します。

中断に関する問題

? プロジェクターが操作すべてに対応しない：
- プロジェクターの電源をオフし、電源コードを抜いて再度電源を投入するまで、少なくとも20秒待ちます。

? ランプが燃え尽き大きな音がする：
- ランプが寿命に達した場合、ランプが消えて大きな音がする場合があります。これが発生したら、ランプモジュールを交換するまで、プロジェクターが機能しません。ランプを交換するには、63ページの「ランプを交換する」セクションの手続きに従ってください。

LEDに関する問題

? **LED**の発光に関するメッセージ：

メッセージ	電源 LED		DVD LED	温度 LED	ランプ LED
	（ブルー）	（緑色）	（緑色）	（オレンジ）	（オレンジ）
スタンバイ状態（電源コード接続）	点滅		○	○	○
スタンバイ状態（DVDの再生）	点滅		☼	○	○
スタンバイ状態（オーバーヒート）	点滅		○	☼	☼
電源オン/ランプ発光		☼	○	○	○
ランプ点灯（DVD再生中）		☼	☼	○	○
電源オフ/冷却		点滅	○	○	○
エラー（過熱）		☼	○	☼	○
エラー（ファン障害）		☼	○	点滅	○
エラー（ランプ障害）		☼	○	○	☼
エラー（フォトセンサーの故障）		☼	○	点滅	○
エラー（カラーホイールセンサーの故障）		☼	○	○	点滅

Note

ライトオン => ☼

ライトオフ => ○

その他のメッセージ

- ランプの交換：

ランプの寿命は近づいてます

ランプを交換してください

- ランプ温度異常：

プロジェクタが過熱状態です

ランプはまもなく自動的に消えます。

- ファンエラー：

ファン故障

ランプはもうすぐ消えます

DVDプレーヤーに関する問題

? エラーメッセージが表示された場合：

- ディスクが挿入されていることを確認してください。
- ディスクが清潔で、良好な状態であり、傷がないことを確認してください。
- DVDディスクによって、再生できないディスクがあります。この場合は他のディスクを再生してください。
- DVD中央の穴の近くに、リージョンコードが付いています。プロジェクターでプレイできるDVDのリージョンコードと、ディスクのリージョンコードを確認してください。プロジェクターはひとつのリージョンコードにしか対応していません。

? ディスクが自動プレイしません：

- ディスクを挿入したときのみ、ディスクは自動的に再生を開始します。ディスクがすでにローダにロードされている場合、[プレイ]ボタンを押すと再生が開始します。
- 電源がオンになっているかを確認してください。

? ディスクがスキップし、連続してプレイしない：

- DVDプレーヤーが[A-B]繰り返し状態でないことをチェックしてください。
- ディスクに、傷があるか、変形してるかまだ汚れているかどうかを確認してください。問題があればディスクをクリーニングし、[GOTO]ボタンを押して、次のチャプターかタイトルに進んでください。

? **CD**の映像の一部が表示されない：

- 非常に高い解像度（ピクセルの高い数値）の映像は表示できません。低解像度になるよう標準フォーマットに変換してください。

サウンドに関する問題

? プロジェクターからサウンドが出ない場合：

- 外部機器をプレイする場合、ソースデバイスとプロジェクターのオーディオ入力の間で、オーディオケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
- ヘッドホンが接続されていないか確認してください。
- 音量を最小にしていないかを確認してください。
- 「デジタルセットアップ-->オーディオ出力」機能がオフに設定されていないことを確認してください。

- 「システム-->ミュート」機能が「オフ」に設定されていることを確認してください。
- DVDプレーヤーが一時停止の状態でないことを確認してください。

リモートコントロールに関する問題

? リモコンがコントロールできません。 :

- リモコンの操作角度が、水平方向±30°以内、垂直方向±15°以内になってるか確認してください。
- リモコンとプロジェクターの間に障害物がないかを確認してください。まだリモコンとプロジェクターの距離を6メートル以内にしてください。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 電池が消耗していないか確認してください。消耗している場合、電池を交換してください。

ランプの交換

プロジェクターでは、自動的にランプの寿命を検知します。ランプが寿命に近づくと警告メッセージが表示されます。

ランプの寿命は近づいています

ランプを交換してください

このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。少なくとも30分間プロジェクタを冷却します。

警告：
ランプコンポーネントは熱くなっています！ランプを交換する前に、必ず冷却してください！

警告：
ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりすると怪我の原因となりますので注意してください

ランプ交換の手順：

1. 電源ボタンを押して、ランプの電源をオフします。
2. 少なくとも30分間プロジェクターを冷却します。
3. 電源コードを抜きます。
4. ドライバーでカバーのねじをはずします。●
5. カバーを取外す。●
6. ランプモジュールから2つのねじを緩めます。●
7. ランプモジュールを取り外します。●

ランプモジュールを取り付けるには、上記手順と逆の手順で取り付けます。

互換モード

モード	解像度	（アナログ）	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.46
VESA VGA	640 x 400	60	31.46
VESA VGA	640 x 480	60	31.46
VESA VGA	640 x 480	72	37.86
VESA VGA	640 x 480	75	37.50
VESA VGA	640 x 480	85	43.26
VESA VGA	720 x 400	70	31.46
VESA VGA	720 x 400	85	37.92
VESA SVGA	800 x 600	56	35.15
VESA SVGA	800 x 600	60	37.87
VESA SVGA	800 x 600	72	48.07
VESA SVGA	800 x 600	75	46.87
VESA SVGA	800 x 600	85	53.67
* VESA XGA	1024 x 768	60	48.36
* VESA XGA	1024 x 768	70	56.47
* VESA XGA	1024 x 768	75	60.02
* VESA XGA	1024 x 768	85	68.67
* VESA SXGA	1280 x 1024	60	64.31
MAC G4	640 x 480	60	31.40
MAC G4	640 x 480	72	37.41
MAC G4	640 x 480	75	37.5
MAC G4	640 x 480	85	43.26
MAC G4	800 x 600	56	35.15
MAC G4	800 x 600	60	37.81
MAC G4	800 x 600	72	48.13
MAC G4	800 x 600	75	46.87
MAC G4	800 x 600	85	53.67
* MAC G4	1024 x 768	60	48.27
* MAC G4	1024 x 768	70	56.47
* MAC G4	1024 x 768	75	60.2
* MAC G4	1024 x 768	85	68.67
* MAC G4	1152 x 870	75	68.76

Note

注：［*］は圧縮コンピュータ画像です。

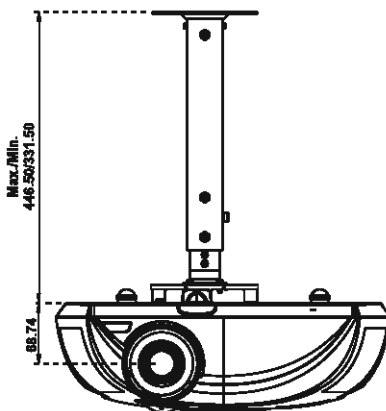
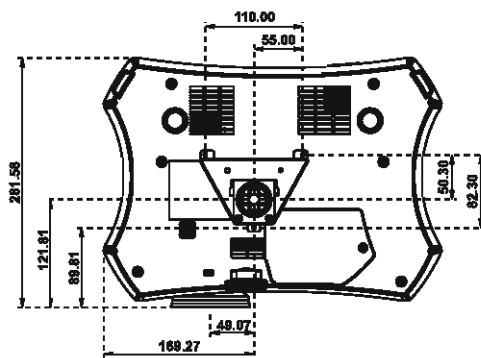
天井への取り付け

1. プロジェクターの破損を避けるため、設置には天井設置パッケージを使ってください。
2. サードパーティの天井設置キットを使いたい場合は、プロジェクターの取り付けに使用するネジが次の仕様に合っているかを確認してください。
   - ネジの種類：M3
   - ネジの最大長：10mm
   - ネジの最小長：7.5mm

Note

不適切な設置による破損は保証の対象になりません。

警告：
1. 他社から天井設置キットを購入した場合、プロジェクターの下カバーと天井の間に10cm以上の間隔があることを確認してください。
2. プロジェクターをエアコンやヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。過熱が生じ、自動的に電源が落ちることがあります。
3. シーリングマウントは必ず金属やコンクリートの上に設置して下さい。

日本語

Optoma 社お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
メールアドレス: service@optoma.com

電話: 408-383-3700
Fax: 408-383-3702
www.optomausa.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
電話 : 905-882-4228
Fax: 905-882-4229
www.optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話: +44 (0) 1923 691 800
Fax: +44 (0) 1923 691 888
www.optomaeurope.com
カスタマーサービス電話: +44 (0)1923 691865
メールアドレス: service@tsc-europe.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City, Taipei Taiwan 231,
R.O.C.
メールアドレス:services@optoma.com.tw

電話: +886-2-2218-2360
Fax: +886-2-2218-2313
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Room 2507, 25/F., China United Plaza, No. 1008 Tai Nan West Street,
Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong
電話: +852-2396-8968
Fax: +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

電話: +86-21-62947376
Fax: +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

電話: 408-383-3700
Fax: 408-383-3702
www.optoma.com.mx

日本

株式会社オーエス
東京都足立区綾瀬3-25-18 オーエス東京ビル
E-Mail:info@os-worldwide.com

お客様相談窓口:0120-465-040
www.os-worldwide.com

規制と安全通知

この付録はプロジェクターの一般的注意事項を一覧表示します。

FCC 規定

この装置は、FCC規定の第15条に準じ、Class Bデジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。この装置がラジオやTV受信装置に有害な障害を与える場合は（装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV技術者に問い合わせる

注意：シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

警告

メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCCが規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

ご使用条件

このデバイスはFCC規定の第15条に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます。て操作を行うことができます。

1.このデバイスが有害な障害を発生しないこと
2.不具合を生じ得るような障害に対応し得ること

Notice: Canadian users

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国の適合宣言

- EMC指令89/336/EEC（修正を含む）
- 低電圧指令73/23/EEC（93/68/EECによって改正）
- R & TTE指令1999/EC（製品にRF機能が搭載されている場合）

廃棄に関する指示

この電子装置を廃棄するときは、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この装置を再使用しリサイクルしてください。